

2018 年度版 黒留袖ボディー着付部門 要項

(1) 課題の内容

- 黒留袖の着付(六通袋帯使用)をボディーを使用して行う。
- 帯結びは二重太鼓とする。

(2) 競技の方法

- 「ボディー補正、長襦袢着付」までの競技をし、一次審査。「留袖着付・帯結び」の競技後二次審査を行う。

(3) 競技時間

補正・長襦袢着付までの作業 15 分、留袖着付及び帯結び作業 20 分。

競技開始時には、衣装敷の左後ろに正座したまま「お願い致します」と挨拶してから、競技に入る。

(4) 競技用具の準備(選手が準備するもの)

①ボディー

ボディーの高さは台から肩先まで 125 cm～130 cm

ボディーのメーカーは自由だが、全プロ推奨品のボディを使用することをお勧めします

が、お手持ちのボディでも大丈夫です

但し、腕は推奨品ボディと同じぐらいの長さまでとする

肩までのボディもOK(右側の写真参照)

※注文書を参照 <http://spckansai.com/styling-collection/>

2018.7.23 追記



全プロ推奨品ボディ
(メーカー百日草)
注文先はSPC通商



②黒留袖

③袋帯(六通)

④長襦袢(半衿付)

ボディーの身長にあった長襦袢、留袖の袖丈と長襦袢の袖丈があったものを準備する。
長襦袢の色は白。半襟は白(塩瀬)、衿の仕立てはバチ衿、広衿のどちらでも良い。

⑤補正用具一式

タオル(色は白、枚数は自由)、コットン、ガーゼ(3.0m~3.3m 切り目は入れておいて良い)

⑥帯じめ(平) 帯揚げ(白に限る)(平、絞り自由)

⑦ 小物付属品・肌襦袢、裾よけ(ワンピース型でも良い)・腰紐(5~6本)・帯枕

帯板(ゴム付きは不可)・クリップ・衿芯(奉書紙などの和紙かセル)

伊達締め、または伊達巻き 2 本(長襦袢及び着物用)

⑧ 扇子(金銀) 着物と帯の間に挟む

⑨ 衣裳敷き(120cm x 180cm 以内)

⑩ 衣装箱(通常の衣装箱及びそれに準ずる箱。プラスチックの衣裳ケースや手さげ型の衣裳ケースは除く)

※必ず持参し、縦 44 cm × 横 64cm × 高さ 25 cm 以内とする)

(5) 服装

選手の服装は上衣は白のブラウス(店名やロゴマーク入りは不可)

下は黒または紺のスカート・スラックス・キュロットのいずれかとする。シンプルで清潔な服装で。(肌の露出の多いもの、透けるもの、ヒラヒラするもの、または膝上のは禁止する。帽子、スカーフ、ショール等も禁止する)

(6) 着付け競技に関する注意事項

① 衿とじは、事前にやってくること。衿芯は事前に入れて良い。

② ものさし、メジャーの使用は認めない。

③ 助手の使用は一切認めない。

④ クリップを留めるための、ポーチや腰用のエプロンの使用は認めるが、タイム前にそれらにクリップを留めることは認めない。(スタート後はOK)

⑤ クリップの本数は自由だが、目盛り付きでないものにする。目盛りが付いているものはテープ等で隠すこと。

⑥ 極端に完成されたボディ補正道具の使用は認めない。タオルをたたんでおくのは禁止。

⑦ 補正を止めるための、テープや包帯止めは使用可。

⑧ ボディ補正のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない。

⑨ ひも付きのおしりパットも不可。

- ⑩ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない。
- ⑪ 帯に形付けをしたり、帯結びの課程につながる過度のたたみ方は認めない。
- ⑫ 袖の板紙使用は、撮影時は良いが、競技の際の使用は認めない。
- ⑬ 帯締めは中心で結ぶこと。
- ⑭ 競技終了後、選手はボディーに一切触れてはならない。

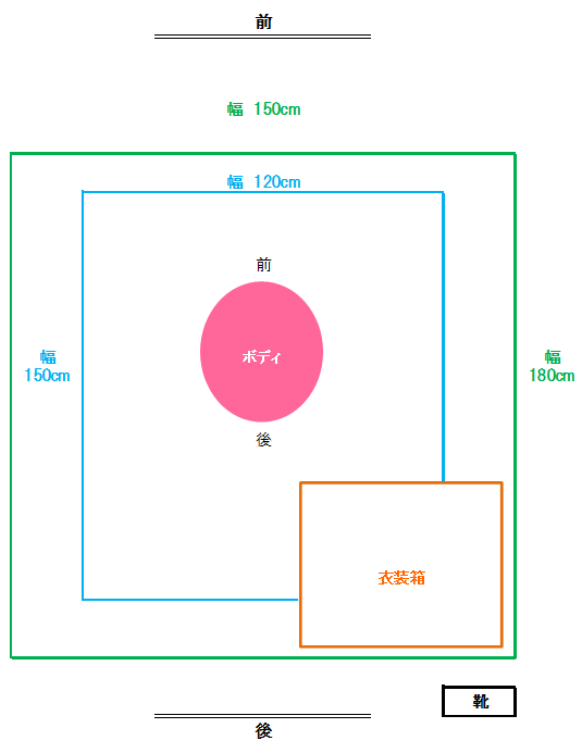
(6) 衣裳類の禁止事項

- 1 黒留袖
 - ①身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。
 - ②おはしより紙は使用禁止とする。
- 2 長襦袢
 - ①半衿は必ず縫い付ける。
 - ②特殊加工をほどこした衿や刺繍の入った衿は認めない。
 - ③後衿の力紐は使用禁止。
- 3 小物
 - ①コーリンベルトの使用は認めない。
 - ②帯飾りは禁止とする。

(8) その他の禁止事項

- ① 競技中に選手同士、観客と会話等をしてはならない。またアドバイスも受けてはならない。
- ② 競技中道具の貸し借りをしてはならない。
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視員の指示に従わない等の行為は禁止とする。
- ④ 携帯電話、スマートフォン、タブレットを競技会場への持込みは禁止とする。控室競技中も持ち物から出すことも禁止とする。
- ⑤ タイムを計るためのタイマー、時計、携帯等は禁止。携帯電話、スマートフォン、タブレットも禁止とする。
- ⑥ 競技中に選手が時計、ブレスレット、指輪は身につけてはいけない。
- ⑦ アイロンは使用できない
- ⑧ 競技用具は、大会当日の朝、競技が始まる前に、監視委員が厳重に点検を行う。忘れものの申告は監視委員を通すこと。

【競技会場 たとう紙、衣装箱、選手靴の配置図】



※競技スペース(150cm × 180cm)

※たとう紙スペース(120cm × 150cm以内)

※衣装箱は競技スペース中であれば、たとう紙からはみ出しても良い。